元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐　勉　　2024年01月29日　第1152号「週刊五十嵐レポート」

中途求人倍率3倍超

1月19日付日経新聞、「中途求人倍率　初の3倍超」という記事。

パーソナルキャリアが発表した2023年12月の中途採用求人倍率は3.22倍となった。求人数が増加し、転職希望者数は減少したため、求人倍率は上昇。12月の求人数は、5カ月連続で増加し過去最高値を更新。

企業の採用スタンスは分かれる傾向がある。慢性的な人材不足を課題に抱える企業では、積極的に採用を行う。一方、組織力強化や新たな分野に挑戦するために採用を行う企業では、自社のニーズに合う人材を見極め慎重に採用する傾向。

ある転職希望者の話。大学卒業後、中堅企業本社の人事・採用・教育を6年従事した。本人は現在の仕事とは違う、将来物販のバイヤーをやりたかった。そのため、物販業の中途採用の面接を受けた。物販の面接担当者は、「バイヤーには簡単になれない。物販の販売をするにしても、終日立ち仕事。トイレにも行けない時があります。(前職で事務職されたあたなに)できますか？」と言われた。本人は、現実を突きつけられた。(自分のやりたい事は甘い考えだった)

転職エージェントに相談してみると、「あなたの人事・採用・教育での職務は十分評価されます。前職よりいい企業に転職できるでしょう。しかし、2～3社会って決まるような考えはしないでください。30～40社会って1社決まると考える。転職はそのぐらいエネルギーが必要なんです」。本人はようやく企業にとっての自分の価値(得意)を認識するようになった。

やりたい事と得意な事は必ずしも一致しない。仕事の上ではこれは重要な事。創業・起業する人で、得意な事ではなく、ただやりたい事をやって失敗する人が多々いる。既存の企業でも、本業と関係のない(得意でない)事業で失敗することを散見する。

もう一度、自社の強み、得意な事を認識して、その中から新しくできる事業を展開してみる。それが本当のやりたい仕事になる。

ちょっと気になる出来事

1月26日付日経新聞、「中国株安、金融・消費」が主導」、「海外勢、日本株押し上げ」という記事。中国株に対する投資家の評価が下がっている。不動産業界の低迷や悪化する状況感を背景に、投資マネーが中国から流出している。一方、海外マネーの再流入が日本株を押し上げている。不振の中国株から日本企業へ期待感で資金が移動していると。

メディアでは注目されない東証プライム（旧一部）の時価総額の推移を見てみる。1989年12月日経株価が38,915円時、時価総額は590兆円。その後2003年3月には228兆円まで下落。2005年12月に522兆円とようやく500兆円を回復（16年かかった）。リーマンショックの影響で2009年2月246兆円まで下落。2014年11月505兆円に回復（約5年）。2017年9月617兆円、コロナ禍2021年3月722兆円、2023年6月810兆円、2024年1月22日903兆円。

1989年12月時点590兆円、2024年1月22日903兆円。903÷590＝1.53。34年ちょっとで1.53倍。ざっと、毎年1.2%ずつ成長し、34年後の今に至る。なんという低成長。（故に今の株価をバブルといったら、それは変）

時価総額1,000兆円まであともう少し。

一口メモ
知識

生々発展の六段階

時に六龍に乗り、もって天を御す。

龍は雲を呼び、雨を降らすといわれる。そこから龍は「天」と「陽」を象徴する生き物とされる。易経六十四卦の乾為天（けんいてん）の卦には、龍になぞらえて、志の達成までの変化の過程が次の六段階で記されている。

○第一段階「潜（せん）龍」高い志を描き、実現のための力を蓄える段階。
○第二段階「見（けん）龍」基本を修養する段階。
○第三段階「君子終日乾乾」創意工夫し、独自性を生み出そうとする段階。
○第四段階「躍（やく）龍」独自の世界を創る手前の試み。
○第五段階「飛（ひ）龍」一つの志を達成し、隆盛を極めた段階。
○第六段階「亢（こう）龍」一つの達成に行き着き、窮まって衰退していく段階。この六段階を「六龍」という。この六つの過程は朝昼晩、春夏秋冬の変化過程と同じであり、大願成就の天の軌道である。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

●「戦略社長塾東京」小岩校　毎週日曜日・水曜日　午前10時～12時
●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校　開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス　〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703　Fax03-3659-7077　info@igarashireport.com